

2026年4月吉日

腎癌研究会 会員各位

一般社団法人 腎癌研究会
会長 藤井 靖久

第4回 腎癌オミクス解析トレーニングコース開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、腎癌研究会主催で会員を対象として研修会を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

先生方のご参加をお待ちしております。

敬具

記

日 時：2026年7月19日（日）10:00～16:30（終了後懇親会）

場 所：横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス
（横浜ランドマークタワー7F）

参加費：無料（交通費、宿泊費はご負担をお願いします）

※プログラムは決定次第ご案内いたします。

非会員の先生でご参加希望の先生におかれましてはこの機会にご入会をお願い申し上げます。

腎癌は、多様な腎癌関連遺伝子の異常と起源となる多様な正常ネフロン細胞の分子背景が複雑に絡み合いながら発生する、極めて多様性に富んだ疾患です。この多様性を正しく捉え、目の前の患者さんを最適な個別化医療へと導くためには、近年急速に発展しているオミクス解析から得られる膨大な情報を臨床的文脈の中で解釈し、意思決定に結びつけていく力が求められています。

本コースは、こうした背景のもと、腎癌におけるオミクス解析の基礎から実践までを段階的に学び、臨床医自身がデータを扱い、解釈し、活用する力を養うことを目的として開始されました。第1回・第2回では腎癌の多様性とRNA-seq、シングルセル解析、空間解析など各種オミクス解析の原理・基礎を学び、第3回ではそれらのデータをR言語・生成AIを用いて実際に操作する実践的トレーニングへと発展し、参加者の皆様とともに着実に理解を深めてまいりました。

第4回となる今回は、これまでの基礎的な内容に適宜触れながら、個々の解析手法からどのように腎癌の分子多様性を捉え、臨床判断に結びつけていくかという視点を重視したプログラムを構成しております。

さらに本コースは、単なる精密医療やオミクス解析手法習得の場にとどまらず、希少亜型を含む腎癌の大規模コホートをオールジャパンで構築し、実臨床に資するエビデンスと診断基盤を創出していくための議論と連携の場としても発展してきました。

腎癌の真の多様性は単施設では捉えきれず、多施設が協力して初めて可視化されるものがあり、本取り組みはその基盤を臨床医主導で築いていく試みでもあります。実際に、本コースを通じてご参加いただいた先生方より検体をご提供いただき、解析データの還元とオンラインでのディスカッションを通じてオミクス解析を伴走することで、臨床的知見として論文化に至った例も生まれてきており、第4回では、これらの成果に基づく具体的な報告をご紹介します。ご紹介します。

本コースが、参加者の皆様にとってオミクス解析を自らの診療に取り込み、患者さん一人ひとりにより深く向き合うための契機となること、さらに本領域における新たな協働と発展の出発点となること、そして腎癌診療が「根拠なく治療を選ばされる時代」から「データに基づき治療が決まる時代」へ移行するための一助となることを心より期待しております。



👉 参加申込はこちらから

本件についての問い合わせ先
腎癌研究会事務局 吉田・揚妻
Mail : jsrc@ctime.co.jp
Tel : 03-6256-0390